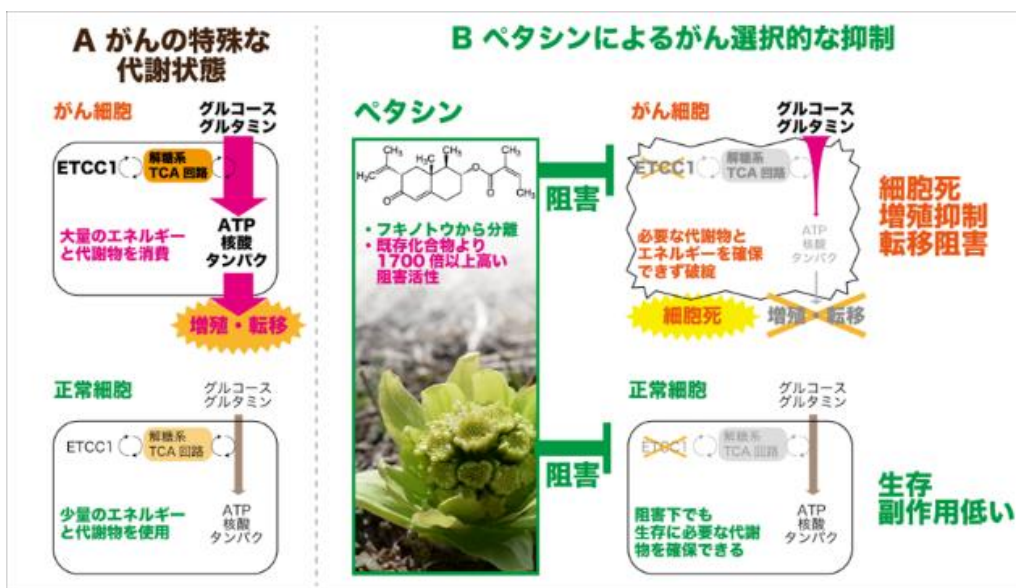


日本原産フキノトウからがんの増殖・転移を強く抑制する物質を発見

【概要】

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 平島一輝 特任助教、赤尾幸博 特任教授らの研究グループは、シーシーアイなどとの共同研究で、天ぷらなどの和食に使われる日本原産植物フキノトウに多く含まれるペタシンが、がんの増殖と転移を強く抑制することを発見しました。また、ペタシンはがん細胞の特異的なエネルギー代謝を阻害することで、正常組織への副作用を抑えつつ効果的に抗がん効果を発揮することを明らかにしました。本化合物を起点として一群の副作用の低い革新的な抗がん・転移阻害薬の開発が期待されます。

本研究成果は、2021年9月2日（木）2時（日本時間）にThe Journal of Clinical Investigation誌のオンライン版で発表されました。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/9/2	岐阜	フキノトウ「苦み」がん抑制 「ペタシン」高い効率で増殖・転移を阻害 ～ 連合創薬医療情報研究科 平島一輝 特任助教, 赤尾幸博 特任教授 ～
2021/9/18	中日	フキノトウ がん増殖抑制 治療薬開発に道 ～ 連合創薬医療情報研究科 平島一輝 特任助教, 赤尾幸博 特任教授 ～
2021/11/9	読売	フキノトウにがん抑制物質 ペタシン 岐阜大など研究 ～ 大学院連合創薬医療情報研究科 平島一輝 特任助教, 赤尾幸博 特任教授 ～